



# 「元気玉プロジェクト2.0」

～避難者のニーズに基づいた長期支援の仕組みづくり～

## 元気玉プロジェクト実行委員会

特定非営利活動法人寺子屋方丈舎・特定非営利活動法人素材広場  
有限会社社会津食のルネッサンス・株式会社明天



# 元気玉プロジェクトとは？

会津のNPOやSB企業（ソーシャル・ビジネス）4社が連携し、避難者のニーズや現場の困りごとをきちんと調べて解決策と繋げ、避難者の安全な自立に向けた長期支援を行うことを目的とした民間・行政連携ネットワークです。

## 【構成団体】

特定非営利活動法人寺子屋方丈舎

特定非営利活動法人素材広場

有限会社社会津食のルネッサンス

株式会社明天



とりあえず、ツイッターの紹介を・・・

## <元気玉プロジェクト>

ツイッター：[@GenkidamaPj](https://twitter.com/GenkidamaPj)

ハッシュタグ：**#genkipj**



# 元気玉は「おにぎりセンター」から始まった

元気玉プロジェクトと福島県会津地方災害対策本部、会津短大食物栄養学科が連携し、全国からお米を集め、会津短大生や市民ボランティアたちがにぎる「おにぎりセンター」を展開！毎朝5時から2000個のおにぎりを作り、その日食糧が足りない避難所にお届け。

3月11日 大震災発生 避難開始

3月13日 会津エリアに避難者増大

3月15日 民間による「おにぎりセンター」立ち上げへ急ぎよ準備

3月17日 会津短大にておにぎりセンター正式スタート(初日は1265個)

3月20日 最高の2292個！！

4月07日 各避難所での需要が満たされ、役割を終えたため「おにぎりセンター」終了。

**23日間で、26,000個のおにぎりを供給！**

**ボランティア150名！**



# おにぎりが繋いだ “あたたかい気持ち”

ある日、元気玉プロジェクト宛てに避難者さんからメールが届きました。  
みんなが励まされました。

先程、会津短大の方々からお送り頂いたおにぎりを食べました。箱には学生の書いた応援のメッセージが書かれ、それを体育館で読み上げられると、みんな涙を流しておにぎりを食べていました。

どうか、私達の気持ちを伝えたく、携帯メールではありますがご連絡した次第でございます。

本当にありがとうございました。

私達は何事にも負けず、強く乗り切ります！

おにぎりパワーがありますので怖くありません！

日も早く葛尾村に帰れる日まで、強く、そして恩返しがしたいです。

どうかこのメッセージをおにぎり作りした方々に伝え頂けないでしょうか。

今はこのぐらいしか出来ないのですが、せめてもの私達の気持ちでございます。本当にありがとうございました。

メールをくれた葛尾村の石井さんに会いにいきました(坂下町川西小跡の避難所)



twitter

ツイッターでもにぎり手さんから避難者の皆さんにメッセージを毎朝お届け！

にぎり手さんから避難所の皆さんへメッセージ。会津短大のゆかさん、なつみさん、ひかるさんから「みんなで力を合わせて頑張りましょう！愛情たっぷりのおにぎりです！」#onigiridama

<http://twitpic.com/4ag9a6>

3月18日 TwtRockerから お気に入り 友達 官 編集



# 1. 0で見えたこと、そして2. 0へ！

- 全体の課題として、各避難所での困りごとや課題をリアルタイムに発見・共有し交通整理する場がない。
- そのため支援のバッティングも見られ、各避難所で工夫していることも共有されにくい。
- 阪神大震災では、避難所で亡くなった方約500人、仮設住宅で亡くなった方のうち孤独死約230人、自殺者も約100人いた。
- 今後、ホテル・旅館や仮設住宅に移ると、さらに個人や家族単位に分かれるため、小さく深刻な困りごとはさらに見過ごされる可能性が増える。
- これからは、「相手が本当に望んでいる支援」、「誰も手がつけていない支援」に！

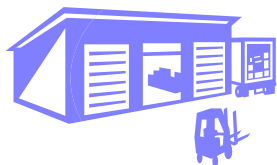
## 元気玉2. 0の活動コンセプト！

避難者のニーズや現場（避難所・ホテル・旅館・仮設住宅など）の困りごとを**きちんと調べて解決策と繋げる活動**をベースに、**避難者の安全な自立**に向けた長期支援の仕組みづくり！

# 全体スキーム

## 元気玉プロジェクト 実行委員会

(寺子屋方丈舎、素材広場、  
会津食のルネッサンス、明天)



<報告 & 課題対策会議>  
毎週土日の夕方、  
本部で実施。

報告して  
支援・解決

各市町村災害対  
策本部や社会福  
祉協議会などに  
報告・相談

プロジェクト化  
して支援・解決

個別プロジェクト  
化して支援した  
方がいいものは  
その都度呼びか  
けてチームづくり。

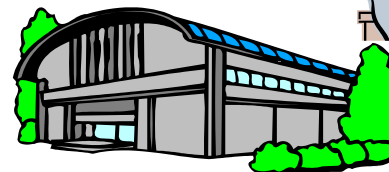
### <巡回ボランティア>

社会福祉士や会津短大  
社会福祉学科の学生・  
市民ボランティアなど  
により構成。



### <アセスメント(現状調査)>

毎週土日、社会福祉士と  
学生のペアで実施。



避難者や避難所  
(段階的にホテル・旅館  
や仮設住宅に移行)

つないで  
支援・解決

会津地域を中心  
とした、専門性を  
持つNPOや団体、  
専門家にお繋ぎ  
する。

他地域や全国との連携

「あいづ長期復興連携会議」

知恵やリソースのハブ。  
多様な実動メンバーや  
つなぎ先のネットワーク。





# 連携の広がり

## 【協働】

### 福島県社会福祉士会会津支部 会津学生ボランティア連絡会

- ・ 公立大学法人会津大学短期大学部
- ・ 公立大学法人会津大学
- ・ 財団法人竹田総合病院 竹田看護専門学校
- ・ 福島県立会津若松看護専門学校
- ・ 仁愛看護専門学校

の5校から学生たちが参加しています。

※5月15日現在、130名の学生が登録しています。

## 【連携】

被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト（つなプロ！）

あいづ長期復興連携会議

## 【協力】

JICA若手ボランティアチーム



# 多く寄せられた特徴的な課題（一覧）

「車がなく、とても不便」

「ペットが心配」

「学校に通うための交通手段が不十分」

「お金がない・・・」

「生活習慣病への対応が心配・・・」

「仕事を見つけられない」

「子どもの学習環境が整わない」

「家族間のストレスが出始めている」

「子どもの遊び場がない」

「役割がない、時間を持て余している」

「コインランドリーでは大変」

「正しい情報が分からない」

「こまごました物資が足りない」

「支援がバラバラ」

「一時帰宅の不安」

「会津で落ち着いて永住できる場所が欲しい」

# これから本質的に大事なこと

これからの会津の活動のポイントは、  
「自治や自立をどう支えるか」ということ！  
言い換えれば、コミュニティの繋ぎ直し支援！！

## 1、同じ生活空間にいる当事者間の繋ぎ直し

- ・避難者同士の自治組織の立ち上げとプログラム支援  
⇒避難者が避難者の困りごとを支える仕組み支援

## 2、当事者と地域住民の繋ぎ直し

- ・避難者と地域住民のコミュニティ円滑化支援  
⇒支援する側される側という関係性を繋ぎ直す

## 3、離れ離れになった当事者間の繋ぎ直し

- ・県外も含めて離れ離れになった避難者の繋ぎ直し  
⇒新潟・山形との連携は急務だし会津の役割

**提言！ITだからこそ出来ること！！**

**【1】離れ離れの人たちを繋ぐ仕組み  
(学習支援、遠隔医療も含めて)**

**【2】(元気玉と組んで)携帯困りごと目安箱**

**【3】未来へ向けて世界へ向けて、  
現場の知恵を「残す」作業！**

**日本人みんなで「今」作る、震災復興  
マニュアルのプラットフォームを！！**

## <元気玉プロジェクト>

公式ブログ:

[http://blog.canpan.info/aizu\\_genkidama/](http://blog.canpan.info/aizu_genkidama/)

ツイッター: [@GenkidamaPj](https://twitter.com/GenkidamaPj)

ハッシュタグ: #genkipj